

平成24年度第5回小平市図書館協議会要録

- 1 日時 平成25年1月17日(木) 午後2時～4時40分
- 2 会場 中央図書館会議室
- 3 出席者 図書館協議会委員：11人 傍聴者：1名
事務局：中央図書館長事務取扱教育部理事、館長補佐兼庶務係長、
館長補佐兼調査係長、花小金井図書館長、サービス係長、資料係長、
仲町図書館長、津田図書館長
- 4 配付資料 資料は省略させていただきます。
- 5 議事等
 - (1) 報告事項
 - ① 図書館運営状況について
 - ・図書館行事等の報告と今後の予定について(資料No.1)
 - (これまでの報告)
 - 11月 8日 花小金井南中学校ブックトーク
 - 11月28日 第四小学校全校集会ブックトーク
 - 11月29日 児童文学講演会「子どもと絵本を結ぶ手ぶくろ人形」高田千鶴子氏
大沼公民館
 - 12月 8日 児童文学講演会「イギリス児童文学～ファンタジーの魅力を語る」
中野節子氏 中央図書館
 - 12月 9日 「調べて学ぼう！こだいらっこコンクール」表彰式 ルネ小平
 - 1月 5日 ふるさとの新聞元旦号展 ～10日 中央図書館、
12日～16日 上宿図書館、19日～24日 大沼図書館
 - 1月17日 中央図書館自衛消防訓練
 - (今後の予定)
 - 1月19日 ブックリサイクル(雑誌) 市内図書館リサイクルコーナー
 - 1月26日 スライド講座「秘密の花園」(子ども文庫連絡協議会・図書館共催)
池田正孝氏 中央図書館
 - 1月31日、2月7日、14日 デイジー図書製作体験会
「デイジー図書を作ってみよう！」荒川明宏氏 中央図書館
 - 2月23日 ブックリサイクル(一般書・児童書) 市内図書館リサイクルコーナー
 - 3月 3日 大人のための図書館探検ツアー 中央図書館
 - 3月 9日、13日、16日 民話講座 石井正己氏 中央図書館
 - 3月13日 障がい者サービス交流会 中央図書館

- ・平成24年度月別貸出状況について（資料No.2）

資料貸出は12月末で1,156,445点となっている。前年同期より約2万6千点ほど減少している。仲町図書館の休館が大きな要因と考える。新規登録者数、貸出者数も同様の要因により減少している。

広域利用についても減少しているが、「他市」の在勤、在学の貸出資料数は増加している。

② 12月市議会定例会について

図書館に関する一般質問は3件あった。1件目は、「カウンター型磁気ループを活用し、聴覚障害者に優しい配慮と対応を」の中で、中央図書館にカウンター型磁気ループ設置し、障がい者に温かくやさしいカウンター業務を確立してはという質問であった。これに対し、聴覚障がい者や難聴の方へのサービスとしては、カウンターに筆談の案内表示し、職員が丁寧に温かく接することを徹底したいと答弁した。

2件目は、「仲町図書館・公民館の合築の経緯と今後について」の中で、教育委員会や図書館協議会での審議内容、冷暖房、ガラス壁面等の維持管理、開館までの予定と今後の運営について3点質問があった。教育委員会や図書館協議会では、建替えに関する方針、設計事業者の選定、基本設計、住民説明会、実施設計などについて報告し、協議している。また、図書館協議会からは、建替えについての提言をいただいたと回答した。維持管理については、ガス式エアコンを採用しているため、保守点検及び定期清掃を行い、ガラス壁面は汚れの程度に応じて、高圧水での清掃が必要であると答えた。今後の予定と運営については、平成26年度中の開館を目指していること。また双方に必要な機能を確保しながら、地域の方が集える場を提供したいと考えていると答弁した。

3件目は、「利用しやすい市立図書館にするために」の中で、ゆったりとした学習スペースを確保する方策、図書館システムに図書の案内の掲載をしてもらいたい、司書の人数と仕事内容、駅前コンビニエンスストアやスーパーに返却ボックスの設置を、図書館業務を民間に委託できないかの5点について質問があった。学習スペースについては、限られたスペースの中で、蔵書の充実に必要な書架と閲覧スペースのバランスを考慮した配置となっているが、今後は多少でも閲覧スペースが確保できるように工夫する。図書館システムの中での図書の案内については、図書館ホームページ、OPACの「内容紹介」にこの20年間に受入れた図書の内容の概要を既に掲載している。司書については平成24年11月現在、20人おり、参考室を担当したり、レファレンス業務、除籍など蔵書構成全般への目配り、講座・講演会の企画実施、学校図書館協力員研修の講師など、専門性を活かした業務に携わっている。返却ボックスの設置については、実際に返却されてから処理するまでに時間差が生じ、すぐに次の貸出ができないなどかえって迷惑をかけること、また図書以外に缶、ペットボトルなどを入れられ、資料を汚損破損することがあると聞いており、小平市では15分歩けば利用できる図書館ネットワークを整備しているので現在のところ設置の予定はない。民間委託については、委託により、効率的な運営、利便性の向上ができたという事例がある一方、レファレンスサービスや蔵書内容の充実、地域との連携において課題が示された事例もある。近年

求められている課題解決に役立つ図書館運営には、図書館資料の充実及びその資料の内容と調べ方に精通する職員の存在が必要であり、専門性の蓄積や継続性が欠かせないことから、他市の状況等を注視するとともに引き続き情報の収集に努め、利用者サービスの一層の向上に結び付く運営を検討していくと答弁した。

③ ふるさとの新聞元旦号展について

今年で33回目を迎えた。昨年、図書館協議会でもう少し多くの図書館で開催できないかとの意見をいただいたことから、今年は1館増やし3館とした。中央図書館が1月5日から10日まで、上宿図書館が1月12日から16日まで、大沼図書館が1月19日から24日まで開催する。

新聞は、主要地方新聞社51社に依頼し、48社から新聞の寄贈があった。また、1月8日の毎日新聞朝刊、1月9日の読売新聞朝刊に記事が掲載された。

④ 中央図書館太陽光発電装置設置工事について（資料No.4）

12月20日から2月1日まで、中央図書館南側の屋根に太陽光発電装置を設置する工事を行なっている。工事内容は、20kwのパネルと1階の風除室にモニターを設置する。

工事にあたり、利用者へは館内掲示、図書館ホームページ等で広く周知している。作業内容によっては騒音、振動が生じる時間帯があり、利用者に迷惑をかけるが、協力をお願いしている。

⑤ 第2次小平市子ども読書活動推進計画の進捗状況について（資料No.5）

子ども読書活動推進計画検討委員会において進捗状況をまとめ、関係各課での検討を経て、平成23年度の進捗状況を資料のとおりまとめた。

⑥ 仲町公民館・仲町図書館建替えに係る解体・改築工事について（資料No.6）

「小平市立仲町公民館・仲町図書館改築工事（建築工事）及び旧仲町図書館等解体工事請負契約が12月市議会定例会で可決され、12月21日に大成建設株式会社東京支店と6億3,840万円で契約を締結した。また、契約締結に当たり、当初予算で措置した附帯設備工事費を充て増額したことから、不足する附帯設備工事費約1億7,000万円を増額する補正予算案も12月市議会定例会で可決された。なお、附帯設備工事請負契約については、3月市議会定例会に議案を提出する予定である。

工事に先立ち住民説明会を仲町公民館で開催する。第1回が2月13日（水）の午後7時から9時、第2回が2月17日（日）午前10時から正午で、工事概要、日程等、同じ内容を説明する。

住民説明会実施後は、解体工事を平成25年3月頃から、その後6月頃から改築工事に着工する予定で、26年度中のリニューアルオープンを目指して進めていく。

<報告事項についての質疑・応答>

- 委員：子ども読書活動推進計画の23年度の進捗状況は、もう少し早い段階に出して、それに基づいて24年度に取り掛かるのではないかと。関係各課の集まりはいつ頃だったのか。
- 事務局：8月の段階で各課から状況の調査をもらい取りまとめていたが、まとめに時間がかかり集計が遅れた。進捗状況は、図書館協議会に報告の後に公表することになっているため、本来は前回の協議会に間に合わせるべきだった。
- 委員：もっと早い段階でまとめてほしい。各項目について様子が書かれているのは良いが、今後に向けての課題が書かれているとさらに分かりやすく、新しい年度に向けて活動しやすいのではないかと。進捗状況はホームページで公表されるのか。
- 事務局：関係課で集まった際、25年度を見据えた話し合いもしているため、関係各課の意識づけはしている。ただ今回、公表が遅くなったため、今後はもっと早いところで報告したい。図書館ホームページで公表する予定である。
- 会長：通常、前年度の報告書の公表は秋頃になるが、今出てくるのは少し遅い。これまでは、10～11月ぐらいに公表されているが、今回は仲町の建替え等で忙しかったと思うので理解してほしい。
- 委員：全体ではなく、一部分だけでも途中で進捗状況を出してはどうか。もう25年度になるので、23年度の進捗状況というのは遅い。
- 会長：次年度からは、協議会で委員会の経過報告をすることを検討してほしい。
- 委員：結果よりも途中経過が分かれば、次にどういう事を行ったらよいかが見えてくる。
- 委員：図書標準を達成していない学校は何校ぐらいあるのか。また達成するための予算措置はどうなっているのか。
- 事務局：中学校はすべて図書標準を満たしている。小学校についても新しい本を購入しているのでいずれ標準は満たす。情報が古くなった資料を除籍し、新しい使える資料を置くように更新を進めているところである。学校の書架は、以前に比べて、明るくきれいになり、新しい本が並ぶようになった。
- 委員：中学校も小学校も図書室に入ると、以前とは雰囲気が違う印象を受ける。
- 事務局：近い時期に、図書標準を達成するのではないかと。
- 委員：学校図書館で持っている調べ学習用資料と図書館で持っている特別団体貸出用資料の分担を教えてください。学校図書館では十分ではないのか。各学校が持つことで非効率になってしまうため、図書館が何セットか持っていて、貸出す方が効率的と考えているのか。
- 事務局：調べ学習用図書とは、参考図書や図鑑、辞典ではなく、一般書の中から授業で使う本をなるべくクラスの人数分選んでいる。クラス全員に1冊ずつ行き渡るように授業を展開するために、特別団体貸出を行なっている。授業の展開に合わせて、先生が工夫して使う図書ということである。
- 委員：市内公共施設での子どもの本の充実とあるが、地域センターに提供したりサイクル用児童図書の維持管理、補修はどうなっているのか。子どもの本に限られたのはなぜか。
- 事務局：管理は、地域センターに任せている。本は、状態のよい十分使えるものを選んでいる。地域センターには、一般の大人向けの本も提供している。図書館に寄贈された本の中から、すでに図書館に蔵書があるなど使われていない本等を提供した。

- 会 長：各小・中学校に配置されている司書教諭は専門か。あるいは他の教科を持った上での司書教諭なのか。
- 委 員：他の教科を持って、司書教諭免許を持っている教員を登録している。12クラス以上は必ず置くことになっている。
- 会 長：できれば専任の司書教諭を1人でも置いたうえで、司書教諭免許を持っている人がいるとよい。専任の司書教諭が学校にいることが大切であるため、今後の課題として触れてほしい。
- 委 員：学校間の相互利用を引き続き検討していくとのことだが、課題はどのようなことか。
- 事務局：単元の教科に関しては、同じ時期に同じ資料を使うことになるので、相互利用は難しいと聞いているが、小平市の場合は、共通のデータベースを使っており、どこでどの資料を持っているのが分かる。交換便や図書館システムを活用することで可能な面もあり、これから課題として検討したい。
- 委 員：統計的な数の表やグラフは作成されるのか。
- 事務局：昨年はこの資料のような形でホームページに掲載した。
- 委 員：学校図書館の貸出等が増えたことが、数値で分かるとよいのではないか。
- 委 員：この報告書を公表するのはいつの予定か。
- 事務局：この協議会の報告後、掲載する予定である。
- 会 長：司書教諭のことやより有効な相互利用を進めるための努力について、具体的なことをこの報告書に盛り込んでもらえるのか。
- 事務局：この報告書は、各課で進めている事業をまとめ、確認も取っている。結果が変わってしまうものであれば変更するが、ここでいただいた意見は24年度の報告書の中で検討させてもらいたい。
- 会 長：今後は途中経過をいただければ、ここでの意見も盛り込んでいけるのではないか。
- 委 員：図書館行事等の報告と今後の予定の中に、西武文理学園中学校の職場体験があるが、これまでは小平市立の学校を受け入れると聞いていたが、学校を通じて依頼があったのか。
- 事務局：基本的には小平市内の小・中学校、高校が対象となるが、学校から要望があり1名の生徒は市民だったことから、3年生の男子生徒2名を受け入れた。
- 事務局：私立の学校であっても、市民であり、図書館での受入れ体制が可能であれば、できるだけ受け入れている。今までも私立の高校生を受け入れたことがある。
- 委 員：中央図書館のティーンズコーナーは、多くの本が置いてあってよいが、他の図書館のティーンズコーナーにはあまり本がないように見える。その年代の方の利用する機会があまりないという事情からか。
- 事務局：花小金井図書館では、スペースに限りがあるため一角にティーンズコーナーを設けている。ティーンズの本をもう少し紹介できるよう、展示コーナーを利用することも考えている。地区館は元々ティーンズコーナーを設ける目的で書架の配置をしていないため、書架の確保が難しい状況にあるが、今後は工夫して考えていきたい。
- 委 員：中央図書館は、太陽光発電装置設置工事で東側の道路から入れないということだが、月別の貸出を見ると、11月に比べて12月が減っている。その影響があるか。

事務局：確かに入口が不便になったこともあるが、毎年統計をとると12月は1年の中で一番少ない。

会長：仲町図書館の休館の影響が大きいと思うが、その分中央図書館の利用が増えている。

委員：中央図書館の防災訓練の話聞いたが、他の図書館は消防隊が組織されているのか。

事務局：施設ごとに防火管理者がいて、各館で年1回防災訓練を行っている。今日は午前中に各館の職員が全員集まる会議があり、消防署の協力も得られたことから訓練を行なった。休館日のため、地区館の職員が利用者役になり、中央図書館の職員がその利用者を避難誘導した。

委員：避難に何分かかったか。

事務局：9時55分に訓練を開始し、10時10分前には避難が完了したが、屋上に2人取り残されたという想定で、はしご車で救出、その後消防署による放水が行われ、すべて終了時刻は10時20分であった。今回の訓練は、震度6の地震が発生し、おさまるのを待っている中、2階の給湯室から火がでたという想定であったため、1、2分避難に時間がかかっている。

委員：どのくらいの頻度で行っているのか。

事務局：年1回程度だが、できれば大きな訓練の他に、消火器や消火栓の位置の確認、使い方、AED（自動体外式除細動器）の操作方法等を積極的に行っていきたい。

委員：訓練には嘱託職員も参加しているのか。

事務局：参加している。

委員：市議会で図書館の民間委託について質問があったが、館長の報告を聞いて安心した。毎年このような質問が出されるようだが、質問者の意図はどういうニュアンスか。

事務局：質問をした議員は、他市の新しくできたコミュニティセンターと図書館と児童館が併設されている複合施設に視察に行き、ここが指定管理で運営していることもあり、小平市としてはどうかという質問をされた。

会長：一時期、民間委託を進める声が市議会の中にあつたと記憶しているが、今は薄れているのか。

事務局：それほど多くは受けていない。今回については再質問もなかった。

委員：太陽光発電は、中央図書館だけで、それ以外の館に設置する予定はあるのか。

事務局：今後の計画では、仲町図書館に設置する。すでに花小金井図書館のある東部市民センターは設置済である。

委員：図書館システムについて貸出資料票の字が細かく、貸出日と返却日が縦に重なり見づらい。またホームページの検索の方法が分かりづらく、以前は本の題名を入れるとその本の表示が出たが、今は関連する本がたくさん出てくる。図書館に多く質問されている事項について利用説明があると分かりやすい。

事務局：貸出レシートの字はこれ以上大きくすると、1人10冊まで借りられるためレシートがかなり長く出てしまう。10月の導入時は、見づらいという意見もあったが、利用者も少し見慣れてきたのか最近はない。貸出日と返却日のバランスについては確認する。ホームページの検索は、キーワード検索ができるようになったため、本の内容や著者の紹介内容ま

で拾ってしまう。キーワード検索は、書名検索よりもかなり広い範囲に検索がかかるので、使い方を案内すれば使いやすくなる。検索方法の内容が違うことを伝えなければいけない。

委員：その検索方法を図書館だよりに載せてほしい。

事務局：次号の図書館だよりに載せて案内する。

委員：簡単検索についても案内してもらいたい。

事務局：館内OPACのところに説明があるが、あまり詳しく書きすぎると読まれないため、シンプルな案内になっている。少しずつ説明しながら理解してもらい、使いこなしてもらえるように支援しなければならない。

会長：キーワード検索だけでなく、書名検索や著名検索も残してあるはずなので、一番簡単なものは書名を入れるように案内してほしい。

委員：民間委託や指定管理を導入した事例が見られるが、費用のことだけを考えて実際に行ってみると具合の悪いことがたくさん出てきているので、徐々に少なくなっていくのではないか。次に職場体験については、負担にならなければ、なるべく小平市の学校や市民に限らず他の生徒でも応じてあげた方が、これからの広報活動にも繋がる。また、前回話題に上がった汚損本については、返す側も始めから汚損があった場合は、図書館に知らせるべきである。さらに電子書籍に関しては、場所をとらず、いつでも引っ張ってこられるというメリットはあるが、形としては1つしかなく、実態がないためいつ消えるかも分からない。これに対し物体としての本は、色々な形態があり、感覚で記憶に結び付くという違いがある。

委員：学校教育の中で、電子書籍を教科書として使う事例がアメリカであるが、学習効果は電子書籍の方が低いという結果が出ている。本は手触りや落書きをしたことで記憶に残るが、電子書籍は単に消費してしまうという研究結果を見たことがある。また、ティーンズ又はヤングアダルトコーナーを置くかどうかは、メリットだけではなく、十代の若者がいろいろなものを目にしたいときに、ティーンズのコーナーに狭められてしまうという考え方がある。したがって選書が難しい。選書の教科書には、十代の若者の興味を先取りした資料を幅広く揃えると書いてあるが、果たして自分が選べるかという自信がない。コーナーの場所がとれないのであれば、一般書のコーナーに並べるというのも考え方としてはあるのかと思う。

委員：先ほどから委託の話がでていますが、仲町図書館ができたときの布石なのか。

事務局：仲町図書館の運営に関しては、まだこれから検討の余地があるが、直営か指定管理なのか、はっきりと市としては決っていない。

会長：市議会の答弁で声を大にして言ってほしい。仲町図書館の職員は、いくつかに分散しているのか。全員、中央図書館にいるのか。

事務局：仲町図書館の職員は、館長が残っているだけで、他の職員は別の課へ異動した。これから運営体制は決るが、必要な職員はそのとき配置する。

(2) その他

事務局：東京都多摩地域公立図書館大会について、別紙パンフレットのとおりに開催する。参加を希

望する方は、事前の申し込みは不要なので、直接会場に足を運んでもらうようお願いする。

<質疑・応答>

委員：定員はあるのか。

事務局：会場が広いので、満員になることはない。